

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化公演動画配信等促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

部 県民文化局 文化創造課 文化振興係 電話番号：058-272-1111 (内3121)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,771 千円 (前年度予算額： 47,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	47,500	47,500	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,771	0	0	0	0	0	0	0	23,771
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍においては、動画配信や3DVRといった、新しい鑑賞スタイルが求められている。県内の文化団体が実施する公演・展示においても、これらを促進し、障がいのありなしに関わらず鑑賞できる配慮を浸透させる必要がある。県内団体の公演・展示を支援することにより、「清流の国ぎふ」文化祭2024に向け、文化団体の活動活性化と機運醸成を図る。

(2) 事業内容

○文化公演動画配信等促進助成事業費 補助金

① 動画配信助成 ②バーチャル展示助成

県内の文化団体が実施する公演・展示について、その経費を支援する。

【助成対象】2年以上の継続した活動実績があり、県内を活動の本拠をおく団体で、会員数が5名以上であるもの。令和5年4月から令和5年12月までに実施する公演

【対象事業】貸館施設※を借用し、広く一般に公開される公演等

【助成対象経費】施設使用料、動画撮影編集費、3DVR撮影費、コロナ対策費、鑑賞料・ト費、印刷費等

【助成額】1団体あたり75万円を上限

※貸館施設…①ぎふ清流文化プラザ、OKBふれあい会館、飛騨生活文化センター、
県図書館、ソフトピアジャパン、セラミックパークMINO

②県内公立貸館施設

(3) 県負担・補助率の考え方

コロナ禍の文化鑑賞スタイルの促進・定着と、令和6年度岐阜県で開催される国民文化祭にむけた準備として県内文化団体の技能向上を目的に実施するものであり、全額県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	23,771	文化活動支援事業
合計	23,771	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ

3地域にあふれる魅力と活力づくり ①清流の国ぎふ文化・芸術の創造・伝承

(2) 国・他県の状況

鳥取県 コロナを乗り越える！アート映像等配信事業 2,500千円

宮崎県 みやぎ文化芸術応援費 42,000千円

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて（公財）岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

（公財）岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	文化公演動画配信等促進助成事業費
補助事業者（団体）	(公財)岐阜県教育文化財団 (理由) (理由) 当財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	(目的) 県内文化の振興 (内容) 各団体による文化振興事業への支援等を行う
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 県 1 / 1 (理由) コロナ禍の影響に係る対策として実施するものであり、全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期 5 年度 (理由) 国民文化祭開催年度までの準備期間に実施のため

(事業目標)

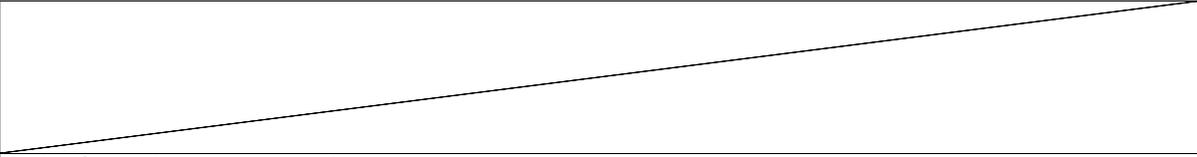
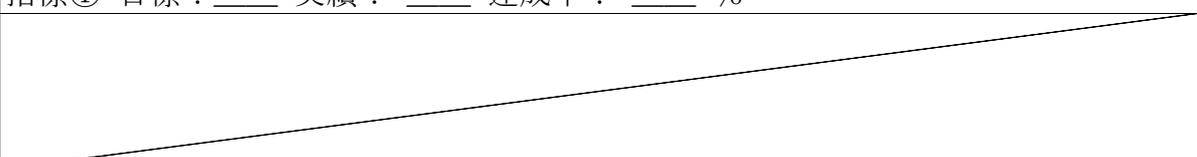
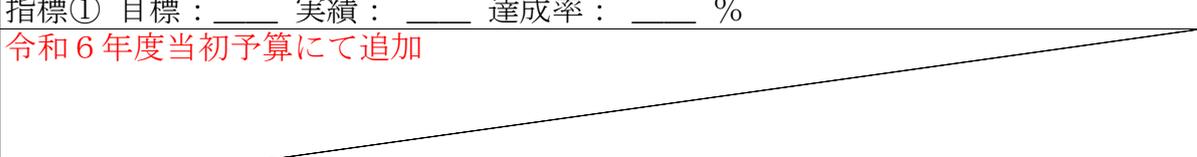
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県内の文化団体のDXを推進するとともに、国民文化祭において、県内各圏域において文化団体の自主公演が開催され岐阜県の地域文化を国内外に発信する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①申請団体数	—	—	50	25	25	
②観覧者満足度 (アンケートで良	—	—	80	80	80	

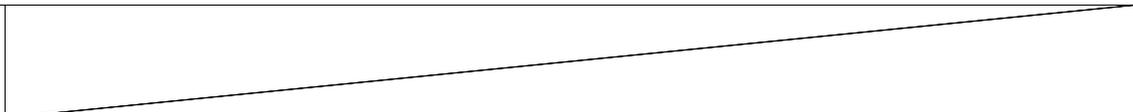
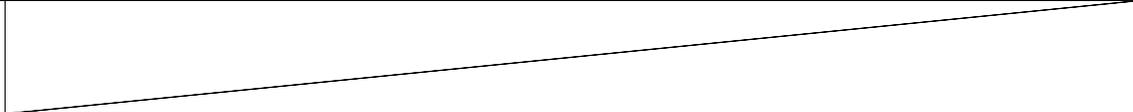
補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	—	—	—

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>幅広い芸術分野に対し、新しい鑑賞スタイルを浸透させつつ、コロナ禍により停滞してる団体の公演・展示活動を支援することは、県内文化団体の技能向上、活性化、機運醸成につながることから、国民文化祭を成功裏に導くために不可欠である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 動画配信や3DVR、障がいのある方への配慮を取り入れた公演・展示等の発表の場を支援することにより、県内の文化芸術活動の活性化と新しい発信スタイルの定着を目指す。</p>
--